

外苑施設

HOME > 三溪園を知る > 古建築 > 横笛庵

よこぶえあん

横笛庵 Yokobuean

有料貸出施設

茅葺屋根の土間と栩葺き屋根の小間からなる、素朴ながら趣のある草庵風の建物。その名前はかつて内部に置かれていた横笛の像にちなみます。

横笛とは、平安時代の末に平清盛の娘であり、高倉天皇の中宮・建礼門院に使えた女性です。平重盛の従者・斎藤時頼との悲恋の話を描いた「平家物語」や高山樗牛の小説「滝口入道」から知られています。

この横笛の像は、時頼から送られた恋文を使って横笛自らが作ったものとされ、縁結びの像として祈願に訪れる人も多くにぎわいましたが、第二次世界大戦中の空襲により失われました。



Audio Guide



横笛庵のみどころ

お困りですか?





窓を開けると、旧東慶寺仏殿が眺められます
明かりは自然光のみで異空間を味わえます

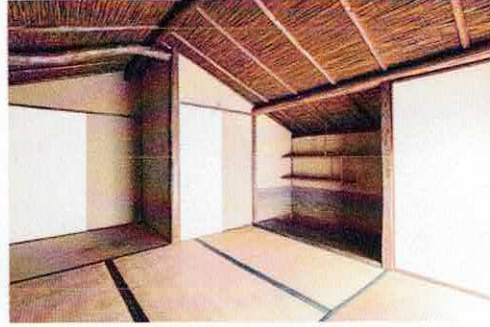
土間

土間部分は、洗い出しモルタルの床に荒々しい土壁に茅葺の小屋裏で農家のような風情です。腰掛の背もたれにあたる腰張りにはひしゅぎ竹が用いられています。

その他のみどころ



葦簀が張られた船底天井。粗野な土壁は田舎の風情ですが、こじんまりと作られており、上品な雰囲気があります。



ご利用いただける水屋・棚。

[施設ご利用料金・お申込みはこちらから](#)

[古建築一覧に戻る](#)



内苑 原家が私庭として使用していたエリア。かつては"桃山御殿"と称された臨春閣を中心に古建築と庭園が一体となった空間が広がります。

内苑の建造物

- 9 御門 ごもん** 横浜市指定有形文化財
 建築年：江戸時代 宝永5(1708)年ごろ / 移築年：大正時代
 京都東山の西方寺にあった薬師門。
- 10 白雲邸 はくうんてい** 横浜市指定有形文化財
 建築年：大正9(1920)年 倉は大正10(1921)年
 三溪が隠居所として夫人とともに暮らした数寄屋風建築。
 倉は初期の鉄筋コンクリート造。
- 11 臨春閣 りんしゅんかく** 重要文化財
 建築年：江戸時代 慶安2(1649)年 / 移築年：大正6(1917)年
 紀州徳川家初代藩主の頼宣が和歌山・紀ノ川沿いに建てた数寄屋風書院造りの別荘建築。内部には狩野派などの絵師による障壁画の複製(オリジナルは三溪記念館で保存・展示)や洗練されたデザインが各所にみられます。
- 12 旧天瑞寺寿塔覆堂 きゅうてんすいじじゅうとうおおいどう** 重要文化財
 建築年：桃山時代 天正19(1591)年 / 移築年：明治38(1905)年
 豊臣秀吉が京都・大徳寺に母の長寿祈願のために建てさせた寿塔(生前墓)を納めるための建築。
- 13 月華殿 げっかてん** 重要文化財
 建築年：江戸時代 慶長8(1603)年 / 移築年：大正7(1918)年
 京都・伏見城にあった、大名来城の際の控え所として使われたといわれる建物。
- 14 金毛窟 きんもうくつ**
 建築年：大正7(1918)年
 三溪の構想による一畳台目(1.8畳ほど)の茶室。
- 15 天授院 てんじゅいん** 重要文化財
 建築年：江戸時代 慶安4(1651)年 / 移築年：大正5(1916)年
 鎌倉・建長寺近くの心平寺跡にあった禅宗様の地藏堂の建物。
- 16 聴秋閣 ちょうしゅうかく** 重要文化財
 建築年：江戸時代 元和9(1623)年 / 移築年：大正11(1922)年
 京都・二条城内にあったといわれる、徳川家光・春日局ゆかりの楼閣建築。
- 17 春草廬 しゅんそうろう** 重要文化財
 建築年：江戸時代(小間) 広間部分は三溪園移築後に増設。
 移築年：大正11(1922)年
 三畳台目(3.8畳ほど)の小間は織田信長の弟・有楽(うらく)の作といわれる茶室。
- 18 蓮華院 れんげいん**
 建築年：大正6(1917)年
 三溪の構想による茶室。
- 19 海岸門 かいがんもん**
 建築年：江戸時代 / 移築年：大正時代

20 三溪記念館 さんけいきねんかん
 建築年：平成元(1989)年
 建築家：大江宏(1913~1989)の設計による展示施設。若き芸術家の支援や大震災後の横浜の復興など多方面にわたって尽力した三溪の業績やゆかりの資料・芸術品を展示する。

- トイレ
- 車イス対応トイレ
- オムツ交換台
- 介助シート
- オストメイト案内所
- コインロッカー
- 電話
- 茶店
- おみやげ販売
- おもな石造物
- 駐車場